

醫師、心理師、社會工作者、公衛護士、護士、營養師、事務人員

五. 主要活動內容

- (一) 受災者個別會談
- (二) 組合屋訪問活動
- (三) 團體治療活動
- (四) 演講、研修會
- (五) 酒害教室
- (六) 交流活動
- (七) 其他支援者的諮商
- (八) PTSD 相關的研究
- (九) 負責中途之家、日間照護之營運

六. 五年工作總結：

該基金已於 2000 年 5 月結束，目前在做研究工作的匯整。

- (一) 外表雖不明顯，但是預估心理傷害會一輩子存在。
- (二) 對受災者反應用自然接觸方法，繼續協助。
- (三) 光是靠專業人員做仍是不足，必需與非專業人員合作及聯絡。
- (四) 殘障、老人、酗酒等，會因地震而更加嚴重，需特別加以注意。

七. 建議

- (一) 建立諮商組織
- (二) 官方與民間共同設立機構
- (三) 教育之進行
- (四) 研究工作繼續執行

八. 參訪建議